

平成 2 2 年度  
環境局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 2 年度環境局予算要求総括表 . . . . . 1
- 2 平成 2 2 年度環境局経営方針 . . . . . 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの . . . . . 3
- 4 事務事業の見直し等 . . . . . 9

# 1 平成22年度環境局予算要求総括表

## 【一般会計】

平成22年度要求総額 11,273,735千円  
 (平成21年度予算額 10,804,461千円)  
 前年度比 +4.3%

## 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 予算額 B	増減 A - B
低炭素社会総合学習システム(Super CAT)構築事業	15,850	0	15,850
新北九州カーボソフット・エコインテ統合システム推進事業	13,718	0	13,718
新「八幡東田スマートコミュニティ構想」推進事業	169,778	0	169,778
(仮称)アジア低炭素化センター創設事業	49,763	0	49,763
新EV(電気自動車)活用環境向上のための充電ネットワーク整備事業	23,494	0	23,494
新低炭素化社会「見える化」推進事業	32,000	0	32,000
古紙リサイクル推進事業	300,922	303,100	2,178
新北九州エココンビナート推進事業(工場廃熱有効活用)	3,150	0	3,150

## 【廃棄物発電特別会計】

平成22年度要求総額 1,020,000千円  
 (平成21年度予算額 1,040,000千円)  
 前年度比 1.9%

## 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 予算額 B	増減 A - B
発電施設管理費	522,123	596,077	73,954
熱供給施設管理費	5,136	5,085	51

## 2 平成22年度環境局経営方針

平成16年度に「世界の環境首都」を目指して策定された「グランド・デザイン」を踏まえ、市の施策・事業に幅広い「環境」の視点を取り入れ、市民・団体・企業・行政など、あらゆる主体の参加と協議のもと、「美しき世界の環境首都」づくりを推進する。

環境局は、このグランド・デザインの行政計画として策定された「北九州市環境基本計画」に定める次の4つの政策目標を柱として、環境施策の推進を図っていく。

「北九州市民環境力」を基礎として、「低炭素社会」づくり、「循環型社会」づくり、「自然共生社会」づくりを推進し、持続可能な社会の実現に向けて世界をリードしていく。

特に、昨年度策定した環境モデル都市行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」に基づき、環境に配慮した都市基盤整備、技術開発支援、環境教育・エコライフの推進、アジア諸国との技術協力などを、環境基本計画に掲げられた他の政策と連携を図りながら低炭素社会づくりを積極的に推進する。

あわせて、従来に引き続き、ごみの適正処理やリサイクル、環境監視などを推進し、生活環境の保全、市民サービスの向上を図るとともに、事業効率化や市民の環境政策への今以上の参画などを通じて、経費の一層の削減に努力する。

### 3 重点的に取り組みを行う主なもの

#### (1) 「北九州市民環境力」の強化

- 1 ・ 継続	・ 低炭素社会総合学習システム ( Super CAT ) 構築事業	15,850 千円
市民、企業、NPO 等との協働事業	( 事業概要 ) 市内に多数ある環境学習施設等を有機的に連携させ、周遊しやすいシステムを設置し、すべての市民が低炭素社会づくりに必要とされる知識を総合的に学べるような環境学習システムを構築する。	
- 1 ・ 新規 - 2	・ 新北九州カーボンオフセット・エコポイント 統合システム推進事業	13,718 千円
	( 事業概要 ) 市民によるCO <sub>2</sub> 削減行動にインセンティブとしてエコポイントを付与し、市民の環境活動の創出・促進を行うエコポイントシステムと、グリーン電力証書等の活用によるカーボン・オフセットシステムを組み合わせ、持続可能な統合システムを創出する。 平成22年度は、専門家・関係者による検討会を設置し、利便性の高い効率的なシステムづくりを検討する。	
- 1 ・ 新規 - 3	・ 新地域循環型生ごみリサイクル推進事業	25,217 千円
市民、企業、NPO 等との協働事業	( 事業概要 ) これまでの成果を踏まえ、生ごみコンポスト化容器の補助事業を総合的に見直し、発展させていく。 低炭素社会づくりに向けて、市民が身近にできる活動の一つとして、家庭ごみの半分近くを占める生ごみについて、市民環境力を活用して、市民センターを核とした堆肥化システムを構築する。 できた堆肥は地域の花壇や市民農園などで活用し、生ごみを地域で循環させる低炭素な資源循環システムを目指す。 また、活動を継続するため、生ごみコンポストアドバイザーを養成し、学校、地域における生ごみの再資源化を支援する。	

## (2) 「低炭素社会」づくりの推進

- 2 ・ 新規

市民、企業、NPO  
等との協働事業

- ・ 新 「八幡東田スマートコミュニティ構想」推進事業  
169,778千円

### (事業概要)

東田地区では、コジェネによる電力供給や自然史・歴史博物館等の太陽光発電、環境共生マンション、カーシェアリング事業など様々な環境対応事業を行っている。これら既存の基盤を更に充実させたスマートグリッドを構築し、低炭素社会の「見える化」を図る。

更に、この基盤を基にエネルギー系企業や情報系企業等、様々な企業の参画による、低炭素化技術の実証事業や新たなビジネスモデルを創出するとともに、これらの取組みをアジア低炭素化センターを通じて海外移転を行う。

- 1 ・ 継続

市民、企業、NPO  
等との協働事業

- ・ (仮称) アジア低炭素化センター創設事業  
49,763千円

### (事業概要)

環境技術や社会技術のアジア地域への積極的な移転を進め、社会の仕組みの変革を図り、新しい価値観や文化を創造する“アジアの低炭素革命”の拠点を目指し、国内初となる「アジア低炭素化センター」を創設する。

- 2 ・ 継続

市民、企業、NPO  
等との協働事業

- ・ 環境モデル都市アクションプラン推進事業  
16,412千円

### (事業概要)

市民等による環境モデル都市の実践活動促進のために支援制度を継続するとともに、外部からの支援を獲得していくため低炭素都市推進協議会等の仕組みを活用し、国・関係機関への積極的な働きかけを行っていく。

環境モデル都市地域推進会議実践活動促進事業  
低炭素都市推進協議会推進事業  
低炭素社会普及事業  
世界へのアピール事業

- 2 ・ 継続

・ 紫川エコリバー構想推進事業

15,000千円

(事業概要)

「環境モデル都市・北九州市」のシンボルとして、市民や来訪者が多く集まる小倉都心部において、太陽光発電や屋上緑化等の環境対策を積極的に推進し、将来の低炭素社会の姿を市民に示すとともに、モデル都市の顔にふさわしいまちづくりやにぎわいの創出につなげる。

- 2 ・ 継続

・ 北九州発！エコドライブプロジェクト

9,600千円

(事業概要)

市民、企業、NPO  
等との協働事業

「エコドライブ北九州プロジェクト」が参加企業の日常的な社内エコドライブ活動のモデル構築のために実施しているのに対し、本事業では、プロジェクトの成果の市内全体への拡大を目指す。

- 2 ・ 新規

・ 新北九州市地球温暖化防止実行計画策定

9,485千円

(事業概要)

市民、企業、NPO  
等との協働事業

「改正地球温暖化対策推進法」に基づき、「北九州市地球温暖化対策計画」(平成18年策定)の改訂を行うもの。

- 2 ・ 新規

・ 新低炭素交通システム構築に向けた市民運動展開  
方策の調査・検討事業

3,500千円

(事業概要)

市民、企業、NPO  
等との協働事業

環境モデル都市行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」に掲げる低炭素交通システムの構築については、次世代自動車の開発や公共交通の利便性向上と相まって、市民や事業者の意識改革、ライフスタイル、ビジネススタイルの転換を同時に進める必要がある。

そこで、市民生活やビジネスの場における、ノーマイカー運動、カーシェアリング、エコドライブ運動などについて、本市の特性に応じた展開方策を調査・検討し、環境モデル都市の目標達成のための施策につなげる。

- |                  |   |
|------------------|---|
| - 2 ・ 新規         | <p>・ <b>新 EV（電気自動車）活用環境向上のための充電ネットワーク整備事業</b></p> <p style="text-align: right;">23,494千円</p> <p>（事業概要）</p> <p>EV普及の課題となっている航続距離に対する不安をなくし、市民や企業が安心してEV導入が行えるよう、充電インフラ（急速充電器や200V充電スタンド等）のネットワークを公共施設において整備する。</p>         |
| - 2 ・ 新規         | <p>・ <b>新 環境モデル都市シンボル事業（北九州空港低炭素化）</b></p> <p style="text-align: right;">3,000千円</p> <p>（事業概要）</p> <p>環境モデル都市のシンボル事業の一環として、北九州空港の低炭素改修（太陽光パネルやLED照明）を実施し、温室効果ガスの削減を進めるとともに、広く低炭素社会づくりのPR（見える化、感じる化）を行うため、その基本検討を行うもの。</p> |
| 市民、企業、NPO等との協働事業 |   |
| - 2 ・ 新規         | <p>・ <b>新 低炭素化社会「見える化」推進事業</b></p> <p style="text-align: right;">32,000千円</p> <p>（事業概要）</p> <p>北九州市環境モデル都市行動計画「北九州グリーンフロンティアプラン」のリーディングプロジェクトを実施する地域において、民間事業者が行う複合的な環境配慮型施設の整備に対して支援する。</p>                              |
| 市民、企業、NPO等との協働事業 |   |
| - 2 ・ 新規         | <p>・ <b>新 地球温暖化対策推進助成事業</b></p> <p style="text-align: right;">118,540千円</p> <p>（事業概要）</p> <p>環境モデル都市行動計画を踏まえ、太陽光発電・太陽熱利用・地中熱利用システムを設置する市民、屋上緑化・太陽光発電を導入する事業者に対し、設置・導入費用の一部を補助する事業を実施し、家庭部門・業務部門における地球温暖化対策を推進する。</p>      |
| 市民、企業、NPO等との協働事業 |   |

- 2 ・ 新規

・ **新 北九州市公共施設グリーンフロンティアプラン  
推進事業**

20,000千円

( 事業概要 )

公共施設の低炭素化をハード・ソフトの両面から推進し、市全体の低炭素化を牽引するとともに、省エネにつなげる。

- 2 ・ 新規

・ **新 環境産業クラスター形成事業**

16,671千円

( 事業概要 )

市民、企業、NPO  
等との協働事業

地球規模での持続可能な社会の実現及び「環境モデル都市」としての低炭素社会づくりに向け、産業クラスターとして「北九州市環境産業推進会議」を設置し、経済団体、事業者、大学等と連携した環境産業の推進を行なっていくとともに、太陽光システム等の普及・拡大や、低炭素社会ビジネスモデルなど具体的な仕組みづくりに着手する。

### (3) 「循環型社会」づくりの推進

- 1・継続  
- 3

市民、企業、NPO  
等との協働事業

#### ・古紙リサイクル推進事業

300,922千円

##### (事業概要)

一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、古紙回収を行う市民団体に対する奨励金の交付や資源回収用保管庫の貸与などにより、古紙回収活動の一層の促進を図る。

- 3・継続

市民、企業、NPO  
等との協働事業

#### ・新規環境産業創出事業

14,464千円

##### (事業概要)

積極的な企業誘致活動や産学官による事業化研究会を通じて新たな環境産業の創出を図るとともに、環境に配慮した製品・サービス等の選定及び普及啓発により市内産業の環境化を促進する「エコプレミアム産業創造事業」などを実施する。

- 2・継続

市民、企業、NPO  
等との協働事業

#### ・新北九州エコ・コンビナート推進事業 (工場廃熱有効活用)

3,150千円

##### (事業概要)

産業圏と生活圏との連携を進め、先進的な資源エネルギー循環都市の構築を目指す「北九州エコ・コンビナート構想」の実現に向け、工場廃熱等未利用エネルギーを活用した具体的な事業立ち上げに向けたプロジェクトを推進する。

#### (4) 「自然共生社会」づくりの推進

- 4 ・ 継続

##### ・ 地域特性型 (メニュー選択方式) 市民環境活動推進事業

13,248千円

市民、企業、NPO  
等との協働事業

##### (事業概要)

「世界の環境首都」を目指す本市の環境政策において、市民、とりわけ地域団体の自主的な活動の活性化が不可欠である。

そこで、里山保全や水路清掃などの自然環境保全活動を行う市民団体や、地域ぐるみで剪定枝を回収する町内会等の地域団体の活動を支援することで、地域環境活動の拡大を図る。

- 4 ・ 継続

##### ・ 市民植樹・美しいまちづくり事業

5,500千円

市民、企業、NPO  
等との協働事業

##### (事業概要)

希望する市民に対し、人生の記念日に苗木を配布し、世界の環境首都にふさわしい、都市と自然とが共生し、うるおいのある美しいまちを創る。

- 4 ・ 継続

##### ・ 大気汚染常時監視システム整備事業

36,864千円

##### (事業概要)

市内の大気汚染の常時監視を行うため、市内21箇所に配置されている測定局と公害監視センターを結ぶテレメーターシステムの整備を行う。

- 4 ・ 継続

##### ・ 光化学スモッグ発生原因の究明に関する調査

2,053千円

##### (事業概要)

国や県と連携し、大陸からの大気汚染物質の影響や市内のオキシダント発生量に関する調査・研究を行うとともに、予報、周知、啓発等の仕組みづくりを研究する。

#### 4 事務事業の見直し等

##### (1) 皇后崎工場焼却炉耐火物取替工事

工事予定を変更・工期を延長し、単年度の支出を押さえたもの。

##### (2) 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成事業

工事予定を変更・工期を延長し、単年度の支出を押さえたもの。